

未明生誕140周年記念シンポジウム

令和4(2022)年は、上越市出身の児童文学作家、小川未明の生誕140周年にあたります。生誕140周年記念事業の一つとして、今年更新した小川未明文学館図録の成果紹介と未明文学を海外の視点から捉える発表の後、未明文学の現状と課題、生誕150周年に向けた顕彰と研究の方向性などについて話し合う記念シンポジウムを開催します。

○日 時:12月17日(土)13:00~16:00(開場 12:30)

○場 所:オーレンプラザ 大ホール(上越市本城町8-1)

○定 員:100名(申込順、参加費無料)

プログラム

開会・主催者挨拶 (13:00~13:10) 小川未明研究会 代表 小埜 裕二
上越市長 中川 幹太

第1部 新編小川未明文学館図録の成果 (13:10~14:25 各15分)

1 未明の生涯と作品

小埜 裕二(小川未明文学館専門指導員・上越教育大学教授)

2 未明の消息—小川未明と現代児童文学—

宮川 健郎氏(児童文学研究者・武蔵野大学名誉教授)

3 小川未明の詩の世界

小川 英晴氏(詩人・小川未明令孫)

4 番神岬に陽は落ちて

東 雅夫氏(アンソロジスト・文芸評論家)

5 視覚化された未明作品—「赤い蠟燭と人魚」に見る変遷—

広松 由希子氏(絵本研究家)

- 休憩 - (14:25~14:40)

第2部 小川未明・海外の視点 (14:40~15:20 各20分)

1 「薔薇と巫女」評価の形成と英訳本

関戸 菜々子氏(金沢大学大学院生)

2 韓国の小川未明

崔 蓮姫氏(韓国釜慶大学教授)

第3部 シンポジウム—10年後の未明研究と顕彰— (15:20~16:00)

パネリスト 宮川健郎氏 小川英晴氏 東雅夫氏 広松由希子氏

司会 小埜裕二

閉会



小川未明 67歳の頃



生家跡地
「弱き者の為に」詩碑



春日山神社境内
「雲のごとく」詩碑

○申し込み方法:小川未明文学館へ電話(025-523-1083)または未明生誕140周年記念イベントHPからお申込みください(受付開始:11月29日(火)10:00から)。

○問い合わせ先:小川未明文学館、小川未明研究会(yuji@juen.ac.jp)

○主催:小川未明研究会、小川未明連絡会議、上越市